

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公表番号】特表2013-543419(P2013-543419A)

【公表日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【年通号数】公開・登録公報2013-065

【出願番号】特願2013-534062(P2013-534062)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/10 (2013.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 1 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物質を哺乳動物内部組織に適用するための装置において、
無孔部分に接続された可撓性かつ吸収性の多孔質部分を有する部材を備えることを特徴とする装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の装置において、前記部材が、膨張および収縮可能なキャビティをさらに備えることを特徴とする装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の装置において、前記部材が、その部材の貫通ルーメンがカテーテルに整合するように前記カテーテルに取り付けられていることを特徴とする装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の装置において、ルーメンが、前記部材の長軸上に延在することを特徴とする装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の装置において、ルーメンが、前記部材の側面から延びて前記部材の端部を貫通していることを特徴とする装置。

【請求項 6】

請求項 2 に記載の装置において、ルーメンが、前記キャビティ内に延びていることを特徴とする装置。

【請求項 7】

請求項 2 に記載の装置において、前記部材が、第 1、第 2、および第 3 のルーメンをさらに備え、前記第 1 および第 2 のルーメンが、端部が開口しており、前記第 3 のルーメンが、前記キャビティ内に延びていることを特徴とする装置。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の装置において、前記可撓性かつ吸収性の多孔質部分が、その可撓性かつ吸収性の多孔質部分から延びたニップルを備え、ルーメンが、前記ニップルを貫通していることを特徴とする装置。

【請求項 9】

請求項 4 に記載の装置において、ガイドワイヤーをさらに備え、前記ガイドワイヤーが

、前記ガイドワイヤーの他の部分の幅よりも広い幅を有する拡張部を備え、前記拡張部の前記幅が、前記ルーメンの幅よりも広いことを特徴とする装置。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の装置において、ガイドワイヤーをさらに備え、前記ガイドワイヤーが、磁化される部分を有し、前記部材が、前記磁化される部分によって引き寄せられるか、または反発されるかの少なくとも一方である強磁性部分を有することを特徴とする装置。

【請求項 11】

物質を哺乳動物内部組織に適用するためのバルーンカテーテルにおいて、
無孔部分に接続されてキャビティを形成している可撓性かつ吸収性の多孔質部分を有する膨張および収縮可能なバルーンと、
前記バルーンに接続されたカテーテルと、を備えることを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のバルーンカテーテルにおいて、前記バルーンが、前記無孔部分からその無孔部分を通して前記可撓性かつ吸収性の多孔質部分を貫通しているルーメンを備えることを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 13】

請求項 12 に記載のバルーンカテーテルにおいて、前記ルーメンが、前記バルーンの長軸上に延在することを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 14】

請求項 12 に記載のバルーンカテーテルにおいて、前記カテーテルが、前記バルーンの前記ルーメンに整合していることを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 15】

請求項 11 に記載のバルーンカテーテルにおいて、前記バルーンが、そのバルーンの側面から延びて前記バルーンの端部を貫通しているルーメンを備えることを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 16】

請求項 11 に記載のバルーンカテーテルにおいて、ルーメンが、前記キャビティ内に延びていることを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 17】

請求項 11 に記載のバルーンカテーテルにおいて、前記バルーンが、第 1、第 2、および第 3 のルーメンを備え、前記第 1 および第 2 のルーメンが、端部が開口しており、前記第 3 のルーメンが、前記キャビティ内に延びていることを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 18】

請求項 11 に記載のバルーンカテーテルにおいて、前記バルーンが、前記可撓性かつ吸収性の多孔質部分から延びたニップルを備え、ルーメンが、前記ニップルを貫通していることを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 19】

請求項 12 に記載のバルーンカテーテルにおいて、ガイドワイヤーをさらに備え、前記ガイドワイヤーが、前記ガイドワイヤーの他の部分の幅よりも広い幅を有する拡張部を備え、前記拡張部の前記幅が、前記ルーメンの幅よりも広いことを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 20】

請求項 11 に記載のバルーンカテーテルにおいて、ガイドワイヤーをさらに備え、前記ガイドワイヤーが、磁化される部分を有し、前記バルーンが、前記磁化される部分によって引き寄せられるか、または反発されるかの少なくとも一方である強磁性部分を有することを特徴とするバルーンカテーテル。

【請求項 21】

磁化される部分および非磁性の別の部分を有するガイドワイヤーを備えることを特徴と

するガイドワイヤー装置。

【請求項 2 2】

請求項 2 1 に記載のガイドワイヤー装置において、前記磁化される部分が、前記ガイドワイヤーの他の部分の幅よりも広い幅を有する拡径部を備えることを特徴とするガイドワイヤー装置。

【請求項 2 3】

請求項 2 1 に記載のガイドワイヤー装置において、前記磁化される部分によって引き寄せられるか、または反発されるかの少なくとも一方である強磁性部分を有する部材をさらに備えることを特徴とするガイドワイヤー装置。

【請求項 2 4】

請求項 2 3 に記載のガイドワイヤー装置において、前記部材が、医療装置を含むことを特徴とするガイドワイヤー装置。

【請求項 2 5】

請求項 2 3 に記載のガイドワイヤー装置において、前記部材が、バルーンカテーテルを含むことを特徴とするガイドワイヤー装置。